

令和5年度4月実施 全国学力・学習状況調査の結果

●問合先 学校教育課学校教育係 (☎23-3185)

小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語、算数・数学、理科の学力調査と学習意欲や生活のことなどを調査する、全国学力・学習状況調査がありました。

調査結果については各学校で分析し、課題を明らかにして具体的な対策を考え、授業の改善や家庭学習をはじめとする基本的な生活習慣の定着につなげます。

1 学力調査 (正答率)

小学校 (第6学年)

	国語	算数
全国	67.2%	62.5%
県	68.0%	61.0%
市	67.0%	59.0%

●良好だった項目

国語：言語の特徴や使い方に関する事項、書くこと
算数：数と計算、図形

●課題がある項目

国語：情報の扱い方に関する事項、話すこと・聞くこと、読むこと
算数：データの活用、思考・判断・表現

中学校 (第3学年)

	国語	数学	英語
全国	69.8%	51.0%	45.6%
県	68.0%	47.0%	39.0%
市	62.0%	37.0%	30.0%

●良好だった項目

国語：言葉の特徴や使い方に関する事項
数学：データの活用
英語：聞くこと

●課題がある項目

国語：書くこと、読むこと、我が国の言語文化に関する事項
数学：数と式、図形、関数
英語：書くこと

2 質問紙 (生活・意識) 調査

小学校 (第6学年)

■全国・県との比較で良好だった項目

▷将来の夢や目標を持つことができている

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	81.5%	10.4%	8.2%
県	82.4%	10.5%	7.1%
市	82.8%	9.0%	8.2%

■全国・県との比較で課題がある項目

▷自分には、よいところがあると思う

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	83.5%	11.4%	5.1%
県	83.5%	12.4%	4.0%
市	78.6%	14.6%	6.7%

【★】・・・『あてはまる』は、『あてはまる』と『どちらかといえばあてはまる』をあわせた数値

▷家庭学習 (塾などを含む) での勉強時間【平日】

	2時間以上	1～2時間	1時間未満
全国	25.6%	31.5%	42.9%
県	22.5%	31.8%	45.6%
市	14.6%	29.7%	55.5%

中学校 (第3学年)

■全国・県との比較で良好だった項目

▷今住んでいる地域の行事に参加していますか

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	38.0%	27.3%	34.7%
県	43.4%	24.8%	31.8%
市	51.7%	22.2%	26.0%

■全国・県との比較で課題がある項目

▷家で自分で計画を立てて勉強していますか

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全国	55.0%	31.9%	13.0%
県	52.4%	35.1%	12.5%
市	47.7%	38.2%	14.1%

▷家庭学習 (塾などを含む) での勉強時間【平日】

	2時間以上	1～2時間	1時間未満
全国	33.7%	32.1%	34.1%
県	22.7%	32.5%	44.8%
市	17.1%	28.3%	54.6%

※無回答などにより、割合の計が100%にならないものがあります。

学校・家庭・地域の役割

伊万里で育つ子どもたちが、郷土を愛し、将来の夢や目標を持ち、日々、頑張っていることがわかります。今の自分に自信を持ち、積極的に取り組もうとする児童生徒を育てるために次のような役割などが必要です。

■学校 各学校で結果を分析し、良い結果は認め、そして褒め、自信を持たせなければいけません。また、昨年度に引き続いて主体的に学習に取り組むための方策を全職員で議論し、研修を行い、授業を改善していく必要があります。

■家庭 子どもたちの日頃の生活 (学校のこと、休日のことなど) について話す機会を持つことが大切です。このような話す機会を持つ中で、子どもたちを褒め、自信を持たせてほしいと思います。そこで得た自信が、学ぶ意欲へもつながり、そして家庭学習の充実にもつながります。

■学校と地域との連携 コミュニティ・スクールなどで、これまで以上にさまざまな人との交流を深めることで、自分が人とつながっている、人の役に立っている、貢献しているという観点から、今の自分に自信を持つことができると考えられます。このことは、日頃の生活を有意義にするだけでなく、将来の夢の実現に向けて、力強く歩むための大きなエネルギーになります。



和嶋静代さん ニューヨークで歌唱

市内在住の声楽家・和嶋静代さんらが、カーネギーホール（アメリカ・ニューヨーク）で10月2日に開催されるイベント『花と音楽の祭典』に出演することにになり、8月24日、深浦弘信市長に出演を報告するため市役所を訪れました。

和嶋さんがカーネギーホールで歌唱するのは昨年に引き続いて2回目で、今回は30人程の合唱団を編成して参加するとのこと。

和嶋さんは「カーネギーホールは伝統的な雰囲気があり、その中ででの歌唱はとても緊張したが、特別な感覚が味わえたので、今回、合唱団のメンバーにも経験してもらいたい。心置きなく歌って、音楽の楽しさをもっと感じてきたい」と意気込みを語りました。



↑意気込みを語る和嶋さん（左）



私の心のアンコンシヤス・バイアス

● 問合先 企画政策課

男女協働推進係 ☎23・2115

私たちは人と接するとき、無意識に相手によって態度や振る舞いを変えることがあります。

例えば、子どもと接する時には、その子どもが男の子か女の子かで、与える物や声掛けの仕方が違います。また、仕事においては、出張が多い職務は男性にだけ任せたり、障がいがある人には簡単な作業だけをお願いしたりしていることがあるのではないのでしょうか。

さて、皆さんは『アンコンシヤス・バイアス』という言葉をご存じですか。

これは『無意識の思い込み、偏見』と訳され、誰かと話すときや接するとき、これまで経験したことや、見聞きしたことに照らし合わせて「この人は〇〇だからこうだろう」というように、あらゆるものを「自分なりに解釈する」という脳の機能によって引き起こされます。誰にもあるもので、これ自体が問題ではなく、気付かずに生まれた言動が影響を及ぼすこと

があり、これが組織の中では個人の能力を見誤ったりすることにもつながります。

自分に置き換えてみると「あれは偏見で、自分の中の偏見を隠すために特別な気遣いや配慮に塗り替えたのではないか」と思い当たることはいくつもあります。

我が子の子育てでは「B型の子はのびのびとやりたいことを見つかるだろう」、「A型の子はしっかりした子に育つだろう」と思っていました。実際はB型の長女は几帳面で計画的、A型の長男は自由なスタイルに育ち拍子抜けしました。

違いに価値を見つけ、違いを尊重し、その人が持つ能力を最大限に発揮し組織の生産性が高まれば、社会の中でダイバーシティの推進がより一層進んでいきます。

その判断、その行動に『自分の中の思い込み』がないか一度立ち止まって考えることから始めてみませんか。

【伊万里市男女協働参画話会『いまりプラザ』委員】

郷土の文化財

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎22・1262

史跡大川内鍋島窯跡調査事業

はっぱうしやしたかまろ

日峯社下窯跡の調査成果⑥

肥前磁器の海外輸出のきっかけは、一六四〇年代に中国の王朝交代による混乱が原因で中国製磁器の輸出が止まってしま

い、それを補うために有田や波佐見で作られた磁器製品が長崎を経由して輸出されたことが始まりです。今まで、大川内山では海外輸出用の製品は作られていないと言われていましたが、今回の調査では、主に東南アジア向けに輸出された製品が出土しました。

写真1は口径29センチ、高さ

約10センチの大振りな鉢で、外面には染付で唐草とボタンの花が描かれています。

写真2は碗です。内側の底の部分の模様は何かわかりますか。もともとは鯉を描いていましたが、簡略化して鯉とは思えない模様になっています。

そのほかには青磁大皿や内側に龍を描いた小皿、香合などの輸出用製品が出土しています。しかし、生産量は少なく、鍋島焼の出土点数よりも少ない点数となっております。



写真1



写真2